



世界史 B, 日本史 B, 地理 B, 政治・経済 物理, 化学, 生物 問題

はじめに、これを読みなさい。

1. この問題冊子は 122 ページある。ただし、ページ番号のない白紙はページ数に含まない。各科目のページ数は以下のとおりである。必要な科目を選択して解答すること。

世界史 B	1 ページから 15 ページ
日本史 B	16 ページから 29 ページ
地 理 B	30 ページから 54 ページ
政治・経済	55 ページから 71 ページ
物 理	72 ページから 85 ページ
化 学	86 ページから 101 ページ
生 物	102 ページから 122 ページ

2. 解答用紙に印刷されている受験番号が正しいかどうか、受験票と照合して、確認すること。
3. 問題文の中で、国名、地域名、企業名については略称、通称も用いている。
4. 監督者の指示にしたがい、解答用紙の氏名欄に氏名を記入すること。次に「解答科目マーク欄」にマークし、「解答科目名記入欄」に解答する科目名を記入すること。マークされていない場合、または複数の科目にマークされている場合は、0点とする。
5. 解答は、すべて解答用紙の解答欄にマークすること。所定欄以外のところには何も記入しないこと。
6. 1つの解答欄に、2つ以上マークしないこと。
7. 解答は、必ず鉛筆またはシャープペンシル(いずれも HB・黒)で記入のこと。
8. 訂正する場合は、消しゴムできれいに消し、消しくずを残さないこと。
9. 解答用紙は、絶対に汚したり折り曲げたりしないこと。
10. 解答用紙はすべて回収するので、持ち帰らず、必ず提出すること。ただし、この問題冊子は、必ず持ち帰ること。
11. 試験時間は、60 分である。
12. マーク記入例

良い例	悪い例
	

日 本 史 B

(解答番号 1～34)

〔 I 〕 次の文章を読み、以下の設問に答えよ。

仏教がわが国に公的に伝来したのは、百済国の聖明王が欽明天皇に仏像・經典などを贈ったときとされている。以後、様々な曲折を経て、わが国に仏教は定着する。飛鳥時代には、豪族たちが古墳にかわって権威を示すものとして氏寺を建立するようになる。奈良時代には鎮護国家思想にもとづき国家規模で仏教の興隆がめざされたが、その反面で僧侶の政治介入が問題視されるようにもなった。この時代に活躍した僧侶には、失敗を重ねながらも6度目の航海で日本へ渡来し、東大寺に戒壇を創設し、聖武上皇らに授戒した などがいる。

平安時代には、最澄や空海が現われて、密教による加持祈禱を主体とした貴族仏教が展開してゆく。平安中期になると末法思想が広まったことで、貴族層を中心に阿弥陀仏に救いを求める浄土教思想が浸透していった。

鎌倉時代に入ると、戦乱や飢饉・疫病などで疲弊した一般民衆も、仏教に救いを求めるようになってゆく。とくにこの時期は鎌倉新仏教とよばれる新勢力が多方面で積極的な活動をみせはじめた。代表的な僧侶としては、安房国で生まれ、辻説法によって他宗を激しく攻撃したために処罰され、佐渡国に流罪となった などがいる。

室町時代に入ると、京都に幕府を開いた足利尊氏は に帰依し、彼を天竜寺の開山として招いた。三代将軍義満もまた五山十刹の制を定め、臨濟宗に対する保護振興をはかった。しかし、この時期には臨濟宗以外にも様々な宗派の伸張が見られ、とくに日蓮宗や浄土真宗では、この後の戦国時代における勢力拡大の基礎が^(オ)つくられている。

問 1 下線部(ア)に関する説明として正しいものを、次のA～Dのうちから一つ選べ。(解答番号1)

- A 『扶桑略記』には、仏教公伝以前に渡来人の司馬達等が私的に仏教を信仰していた事実が書かれている。
- B 仏教公伝の年代については、『日本書紀』『元興寺縁起』を根拠とした壬申説(538年)と、『上宮聖徳法王帝説』を根拠とした戊午説(552年)の二説がある。
- C 欽明天皇が仏教を信仰することの可否を臣下にはかったところ、大臣の蘇我稲目はそれに賛成し、大連の物部守屋らは反対した。
- D その後に仏教を日本に広めた聖徳太子(厩戸皇子)は、欽明天皇の皇子である。

問 2 下線部(イ)に関連して、白鳳文化の特徴を伝えるものを、次のA～Dのうちから一つ選べ。(解答番号2)

- A 法隆寺金堂釈迦三尊像
- B 薬師寺金堂薬師三尊像
- C 飛鳥寺釈迦如来像
- D 広隆寺半跏思惟像

問 3 空欄1に当てはまる人名として正しいものを、次のA～Dのうちから一つ選べ。(解答番号3)

- A 道昭
- B 行基
- C 鑑真
- D 良弁

問 4 下線部(ウ)に関する説明として正しいものを、次のA～Dのうちから一つ選べ。(解答番号4)

- A 曼荼羅は、往生を願う人の臨終に際し、阿弥陀仏が極楽浄土から雲に乗って迎えに来る様子を描いた仏教絵画である。
- B 藤原道長が「御堂関白」と通称されるのは、彼が晩年に極楽浄土への往生を願い法界寺を建立したことに由来する。
- C 日本最初の往生伝である源信の『往生要集』によって、念仏による極楽往生の方法が示され、浄土信仰が確立された。
- D 福島県の白水阿弥陀堂や岩手県の中尊寺金色堂は、院政期における浄土教の地方普及の実例として貴重である。

問 5 下線部(エ)に関する以下の出来事のうち最も新しい時期に成立した書物を、次のA～Dのうちから一つ選べ。(解答番号5)

- A 日蓮の『立正安国論』
- B 栄西の『喫茶養生記』
- C 道元の『正法眼蔵』
- D 法然の『選択本願念仏集』

問 6 空欄2に当てはまる人名として正しいものを、次のA～Dのうちから一つ選べ。(解答番号6)

- A 日蓮 B 栄西 C 親鸞 D 法然

問 7 空欄3に当てはまる人名として正しいものを、次のA～Dのうちから一つ選べ。(解答番号7)

- A 義堂周信 B 虎関師錬 C 絶海中津 D 夢窓疎石

問 8 下線部(オ)に関する説明として誤っているものを、次のA～Dのうちから一つ選べ。(解答番号8)

- A 日蓮宗の僧侶である日親は、『立正治国論』を著して將軍足利義教に諫言したために迫害されたと伝えられている。
- B 浄土真宗中興の祖とされる蓮如は、越前吉崎に道場を設けるなどして布教に努めた。
- C 京都の商工業者を基盤とした法華一揆は、1536年、一向一揆と衝突し、焼打ちをうけて、一時京都を追われた。この戦いを天文法華の乱という。
- D 蓮如は阿弥陀如来への信仰を御文とよばれる平易な文章で説き、講を組織して惣村へ教えを広めていった。

〔Ⅱ〕 次の史料(1)(2)は、それぞれ江戸幕府の法令・通達から一部を抜き出したものである。これらを読み、設問に答えよ。史料の一部は書き改めたところがある。

(1)

- 一、1の道、専ら相^{たしな}嗜むべきこと。
- 二、大名小名、在江戸の交替相定むる所なり。毎歳夏四月中、参勤を致すべし。従者の員数、近来甚だ多し。且は国郡の費、且は人民の^(ア)勞なり。向後、その相応を以て、これを減少すべし。
- 三、国主・城主、一万石以上^(イ)ならびに近習、物頭は、私に婚姻を結ぶべからざること。
- 四、五百石以上の船、^{ちようし}停止のこと。

（『御触書寛保集成』）

*便宜上、各条項に一～四の番号を付した

問 1 空欄 1 に入る語として正しいものを、次の A～D のうちから一つ選べ。

（解答番号 9）

- A 諸芸能 B 文武弓馬 C 学問 D 歌学

問 2 この法令は、原則として将軍の代替わりごとに出された。その名称として正しいものを、次の A～D のうちから一つ選べ。（解答番号 10）

- A 公事方御定書 B 諸士法度
C 禁中並公家諸法度 D 武家諸法度

問 3 史料(1)が出された年と将軍名の組み合わせとして正しいものを、次の A～D のうちから一つ選べ。（解答番号 11）

- A 1615 年(元和 1) — 徳川秀忠
B 1635 年(寛永 12) — 徳川家光
C 1683 年(天和 3) — 徳川綱吉
D 1717 年(享保 2) — 徳川吉宗

問 4 一～四のうち、この年に新たに盛り込まれた条項が二つある。新たに盛り込まれた二つの条項はどれとどれか。正しいものを、次のA～Dのうちから一つ選べ。(解答番号 12)

- A 一と二 B 二と三 C 二と四 D 三と四

問 5 下線部(ケ)の意味することとして正しいものを、次のA～Dのうちから一つ選べ。(解答番号 13)

- A 大名が国元に住んで政務を取り行うこと。
B 大名が国元と江戸に交代で居住すること。
C 大名が一定期間江戸に住んで、幕府に出仕すること。
D 大名の妻(正室)と子(嫡子)が、国元と江戸に交代で居住すること。

問 6 下線部(イ)に相当する身分として正しいものを、次のA～Dのうちから一つ選べ。(解答番号 14)

- A 陪 臣 B 旗 本 C 御家人 D 大 名

(2) 其^{その}方門人共の内にも、右^{みぎてい}体の學術純正ならざるもの、折節はこれ有る様にも相聞^{いか}へ、如何に候。此度、聖堂御取締り嚴重に仰せ付けられ、2・岡田清助儀も右御用仰せ付られ候事に候へば、能々^{よくよく}此旨^{むね}申し談じ、急度^{まつと}門人共異学を相禁じ、猶^{なお}又自門に限らず、他門に申し合せ、正学講窮致し、人材取立て候様、相心掛申すべく候事。

(『憲法類集』)

問 7 空欄 2 に入る人物として正しいものを、次のA～Dのうちから一つ選べ。(解答番号 15)

- A 太宰春台 B 古賀精里 C 柴野栗山 D 山崎闇齋

問 8 この通達に関して述べたものとして誤っているものを、次のA～Dのうちから一つ選べ。(解答番号 16)

- A この通達は、諸藩に設けられた藩校にも出された。
- B この通達は、林家の家塾にたいして、朱子学以外を講ずることを禁じたものである。
- C この通達の後、幕府は幕臣にたいして朱子学による試験(学問吟味)を実施した。
- D この通達が出された後、幕府は林家の家塾を幕府直轄の昌平坂学問所とした。

問 9 この通達を含む、一連の幕政改革として実施された事として、誤っているものを、次のA～Dのうちから一つ選べ。(解答番号 17)

- A 江戸では、浮浪人や無宿人を石川島に設けた人足寄場に収容した。
- B 飢饉にそなえて、各地に社倉・義倉を設けて米穀を蓄えさせた。
- C 幕府財政の再建策の一つとして、大名に上げ米を命じた。
- D 旗本・御家人を救済するために、札差に貸金を放棄させる棄捐令を出した。

〔Ⅲ〕 以下の文章を読み、設問に答えよ。

今日、それぞれの政治体制は異なっているけれども、世界のいくつもの国や地域で目覚ましい経済発展がみられる。それらにほぼ共通していることは、政府がそうした経済発展を強力に牽引したり、後押ししたりしていることである。明治維新以降の日本でも同様の政策が展開された。

西欧列強によって植民地化されることを恐れた明治政府は「富国強兵」をはかるために、官営模範工場を設立するとともに、後年にはそれらを民間に払下げるなどして、殖産興業政策を推進した。まず「富国」を実現し、そこで獲得される富をもとに「強兵」をはかり、その兵力を背景にさらなる「富国」を遂げる政策を推進したのだった。そうした政策の結果として、資本主義の発展がみられるようになった反面で、日本国内では大きな社会問題が生じるようになった。そのような社会問題の代表的なものとしては、第一に、景気変動が顕著に発生するようになり、時には恐慌さえももたらされるようになったことが挙げられる。恐慌が起こると企業倒産や農地を手放さざるを得ないものが続出する一方で、その恐慌をきっかけにして、手放された資本や土地を集めて財閥や大地主が登場することになった。第二に、資本家が労働時間を増大させたり賃金の引上げを抑制したりするなどの労働強化をはかり、それへの対抗手段として労働運動が活発化した。第三に、急激な工業化にともない、大規模な公害問題が発生するようにもなった。

こうした問題は、視点を変えるなら、社会における格差を明確にするだけでなく、むしろ拡大させるものに他ならず、19世紀末から20世紀初めに日本国内で社会主義や共産主義が受容された理由の一つとなったといえよう。またそれらの出来事は無産政党が多数誕生する背景にもなった。こうした動きを受けて政府は、資本主義ならびに天皇制を守るために、共産党を非合法化するとともに、1925年には治安維持法を制定した。このように政府主導で実現された経済発展は、他方で多数の社会問題も引き起こし、政府が対処すべき事柄を増大させたのだった。

問 1 下線部(ア)に関連し、官営模範工場として誤っているものはどれか。次の

A～Dのうちから一つ選べ。(解答番号 18)

- A 深川セメント製造所
- B 新町紡績所
- C 日本製鋼所
- D 品川硝子製造所

問 2 下線部(イ)に関連し、官営事業の払下げに関する説明として正しいものはどれか。次のA～Dのうちから一つ選べ。(解答番号 19)

- A それらの払下げは、松方正義が 1880 年に工場払下げ概則を制定して推進した。
- B 1881 年に問題化した開拓使官有物払下げは、工場払下げ概則に準拠して行われた。
- C 1884 年に工場払下げ概則が廃止されたため、払下げは急速に停滞することになった。
- D 富岡製糸場は 1893 年に三菱へ払下げられた。

問 3 下線部(ウ)に関連し、労働者の苦しい労働状況を記した書とその著者の組み合わせとして正しいものはどれか。次のA～Dのうちから一つ選べ。(解答番号 20)

- A 『職工事情』— 片山潜
- B 『女工哀史』— 細井和喜蔵
- C 『妾の半生涯』— 景山(福田)英子
- D 『日本之下層社会』— 高野房太郎

問 4 下線部(エ)に関連し、労働運動や労働組合の説明として誤っているものはどれか。次のA～Dのうちから一つ選べ。(解答番号 21)

- A 雨宮製糸ストは1886年に山梨県で女工が起こしたもので、日本で最初に起こった工場労働者によるストだとされる。
- B 労働組合期成会は高野房太郎や片山潜らによって労働組合結成を促進するために1897年に組織された。
- C 友愛会は鈴木文治らによって1912年に結成されたが、幸徳秋水らが唱えた直接行動主義を支持していたため、同年に解散を命じられた。
- D 1940年に新体制運動が始まると、労働組合・労働団体は解散し、工場ごとに産業報国会が作られ、その全国的な連合体として大日本産業報国会が結成された。

問 5 下線部(オ)に関連し、その代表的なものとして足尾鉍毒事件が挙げられる。この事件に関係する説明として誤っているものはどれか。次のA～Dのうちから一つ選べ。(解答番号 22)

- A この事件は古河市兵衛が創業・経営していた足尾銅山において、銅の精錬過程で出された鉍毒が渡良瀬川流域の住民に被害を与えたものである。
- B この事件の解決に当たった者のなかに栃木県内に選挙区を持つ衆議院議員田中正造がおり、彼は問題の解決を目指して、議員辞職したうえで1901年に天皇に直訴した。
- C 政府は栃木県内の谷中村を廃村とし、そこを遊水池とすることでこの問題を解決しようとしたが、遊水池は十分には機能しなかった。
- D この問題の解決に積極的にかかわった政党に、片山潜や安部磯雄らが創設した社会民主党があった。

〔IV〕 戦後の政治に関する次の文章を読み、設問に答えよ。

1947年に内閣総理大臣となった [1] は、戦前は社会民衆党の初代書記長を務め、戦後、結成された日本社会党でも最初の書記長を務めた。日本社会党はこの年の4月の選挙で躍進し第一党になったとはいえ議席数は衆議院で140議席にとどまり過半数には及ばなかった。このため保守系の [2] などとともに保守主義と社会主義の連立政権を樹立した。しかし、組閣人事は難航し、1947年5月24日、親任式では全閣僚を総理一人が兼務するという異例の形でこの内閣はスタートした。閣僚が決定したのはその一週間後であった。社会党左派からの入閣は一人もいなかったが、それでもこの内閣は、社会主義的政策の実施に意を注いだ。特に [3] の問題は政権内で混乱を引き起こした。このため産業界の影響の下にある保守政党からは強い反発を招き、法案の内容で譲歩をした。この結果、社会党左派の造反を招き、 [1] は最終的には、1948年2月に辞任表明を余儀なくされた。この三党連立の枠組みを継承し、3月10日に組閣をしたのが [4] である。報道・世論はこれを政権のたらい回しと批判をし、この連立内閣の権力基盤は不安定であった。そこに復興金融金庫からの融資をめぐり [5] がおこり、内閣は総辞職を余儀なくされた。

問1 空欄1、空欄4に入る人物の組み合わせとして正しいものを、次のA～Dのうちから一つ選べ。(解答番号26)

- | | |
|---------------|---------------|
| A 片山哲 — 芦田均 | B 芦田均 — 片山哲 |
| C 片山哲 — 幣原喜重郎 | D 芦田均 — 幣原喜重郎 |

